萌木

社会福祉法人もえぎの会　広報誌
もえぎ26号

発行：　社会福祉法人
もえぎの会

発行日：2018年10月1日

もえぎの会発足40年を迎えて

目黒区健康福祉部長
上田広美

もえぎの会の皆様には、日頃から目黒区の障害福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。 また、沼野後援会長をはじめとする後援会の皆様にも様々な場面でご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

もえぎの会の事業には、「しいの実社」が行います就労継続支援B型事業や生活介護事業などがございますが、本年3月には、法人が運営する4か所目のグループホーム「沙羅の家　清水」が区立第四中学校跡地に開所いたしました。 定員18名、短期入所2名の合計20名で、もえぎの会は区内で最も大きいグループホームを運営する法人となったところでございます。 また、このグループホームに併設して、地域生活支援拠点を区が委託して事業の実施をお願いしております。この事業では、障害者やご家族からの相談を24時間365日受け付けていただくほか、短期入所を活用した緊急時の受け入れや体験の場を提供していただいております。

もえぎの会は、その前身となる親の会が昭和53年（1978年）に結成され、本年で40年を迎えられました。 これまでの活動に深く敬意を表しますとともに、今後も障害のある方が安心して地域に住み続けられますよう、事業の継続と発展を期待するところでございます。

障害者を取り巻く状況は、高齢化の進展や障害の重度化、さらにご家族の高齢化等、多くの課題がございます。 区といたしましては、地域に根ざした活動していただいておりますもえぎの会と協力・連携し、共生社会の実現を目指して、様々な施策や事業に取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

第17回しいの実祭のお知らせとお願い

今年は、11月23日（金、祝）開催予定で、恒例の後援会のバザーも企画しています。 献品に、ご協力をお願いいたします。11月16日（金）までに、ご連絡をお願いします。 ただし、下記のものはお預かりできませんのでご了承ください。

- 賞味期限の切れた食品
- 古本、古着、日本人形、書画の類、大量の食器

（献品の連絡先　：　しいの実社　☎03-5724-7153　岡田）

沢山の方に参加していただき、感謝の気持ちを表すような企画を、進めています。 来場された方が笑顔になる…心温まるお祭を目指します。

施設のスペースが限られており、平素よりお世話になっていますお隣の白川電機製作所さん、平研磨工業所さん、五十嵐電機製作所さん、スタジオ　イーヴィさんの場所をお借りして、ますます盛り上げるように、みんなで張り切って準備しています。

もえぎの会事業報告会、後援会総会　開催

施設長　小平真理

青木区長祝辞

7月14日（土）に目黒区合同庁舎大会議室にて、恒例のもえぎの会事業報告会・総会を開催しました。 当日は最高気温35度を越える猛暑でした。 行政・議会、福祉団体などの関係者、後援会の方、ボランティアの方、利用者、ご家族、スタッフなど参加者は170名となりました。

司会進行を事務局の岡田なおこ課長が務め、最初に、後援会総会を行い、事業報告、決算に続き、後援会役員選出、事業計画、予算を承認していただきました。

引き続き、事業報告会を行い、理事長の挨拶に続いて、目黒区長青木英二様より祝辞をいただきました。

もえぎの会の事業報告は、スクリーンを使用して報告させていただきました。 今年度は、しいの実社施設長の小平真理に加え、規模が拡大して新たに施設長に任命された長谷茂雄より、新たに開設した沙羅の家　清水の運営状況などを報告させていただきました。

その後、区議会議員の方にご登壇いただき、皆様にお言葉をいただいた後、議長のおのせ康裕様の乾杯のご発声で懇親会がはじまりました。 料理はしいの実社のランチを担当していただいておりますハガクレフーズさんにお願いし、ビュッフェスタイルで思い思いに召し上がっていただきました。 盛り上がっている中で、目黒区役所、国会議員、都議会議員、関係団体の皆様にご挨拶をいただきますとともに、なかなかお会いする機会のない方、お話しする機会の少ない方とも交流できる場となりました。 お腹を満たした後、昨年同様、チェロ協会の島崎さんにお世話になり、演奏をしていただき、利用者は、体を揺らしたり、歌ったりして、体で感じ、楽しんでいました。

待ちに待ったお楽しみのお料理

演奏に聴き入る社員のみなさん

閉会では、新たに入職した多くのスタッフを紹介し、挨拶していただきました。 新しいメンバーをたくさんの方に覚えていただき、皆様に協力していただける機会となりました。 来ていただいた方にはしいの実社製品を手土産にお持ち帰りいただきました。 日々の活動で、製品を作り、当日開催前に社員が、袋詰めをしましたので、お越しいただいた方に喜びのお声をいただきまして、うれしく思いました。

事業報告会も15回目を迎え、後援会、家族会の方が準備と当日の運営に協力して、手際よくこなしていただき、スタッフもそれぞれの役割をしっかりと担い、滞りなく開催することができました。 ご協力いただきました方々に感謝いたします。

クロージング　全員集合

また、もえぎの会の事業報告会に多くの方に足をお運びいただいたこと、誠に感謝申し上げます。 来賓の方や後援会の方に改めてもえぎの会の活動内容、生活、作業の様子を知っていただき、利用者の方、スタッフとも顔の見えるつながりをもてる機会となりました。

今後とも利用者の豊かな生活、充実した人生を支援し、もえぎの会に関わる方々に幸せが届くよう活動してまいります。

しいの実社　宿泊研修旅行

総勢80名　全員集合!!

今年しいの実社では、9月6日から1泊2日の宿泊研修旅行で群馬県の伊香保温泉に行ってきました。　社員50名、スタッフ27名、ボランティア3名の合計80名の大所帯です。

トロッコ列車を楽しむ丸山さん

1日目は9時にしいの実社を出発し、休憩をはさんで横川の「峠の釜めし　おぎのや」でおいしい昼食をいただきホッと一息。 お腹いっぱいのまま鉄道文化むらに行きました。 まずは全員でトロッコ列車に乗車。その後のグループ行動ではアイスやかき氷を食べる人、興味深そうに展示されている列車を見学する人、思い思いの時間を過ごしました。 そこからまたバスで移動をして宿泊先「伊香保温泉ホテル しん喜」に到着。

順番待ちのカラオケ

ホテルに到着してからは休む間もなく温泉入浴タイムとなり、お風呂から上がってくる皆さんの顔には心も体も温まった笑顔がありました。 いよいよお待ちかねの大宴会。 まずはおいしい豪華な料理をお腹がいっぱいになるまで楽しみ、毎年恒例のカラオケ・タイム。 多くの人が歌えるように事前に聞いておいたリクエストの曲を次々に歌って、踊って盛り上がりました。 自分の番を今か今かと待つ人、待ちきれず舞台で一緒に踊っている人とさまざまで、限られた時間でしたが普段見ることのできないとびきりの笑顔を見てスタッフの苦労も吹き飛びました。 一旦お開きにして、それでもまだ歌いたい！という人のために二次会へ突入。 ひとしきり歌い、満足気に皆さん部屋に戻っていきました。

道の駅川場田園プラザ

2日目は朝9時にホテルを出発し、目的地は道の駅川場田園プラザです。 レストラン「武尊」で昼食を取り、グループで中を散策しました。 昼食直後にもかかわらずおいしそうにソーセージをほおばる人、食後の運動にプレイゾーンで元気に体を動かす人、熱心にお土産を見る人、様々でしたが、ゆっくりと過ごせた一時でした。

帰路につき、サービスエリアでジュースを買ったり、フランクフルトを食べたり、旅の終わりを惜しみつつ、最後まで楽しんでいました。

葛飾柴又

社員には、お腹いっぱい、胸いっぱいの笑顔あふれた充実した旅行となり、初参加のスタッフも多い中で、社員との関わりをより深められたこの2日間となりました。

昨年から始めて好評だった高齢社員を対象とした日帰り研修旅行は、9月21日に実施しました。 深まる秋を葛飾柴又で楽しんで参りました。おいしい鰻をいただき、寅さん記念館を見学し、なつかしい寅さんを思い出していました。

ご支援いただいている後援会の皆様に、社員・スタッフ一同お礼申しあげます。ありがとうございました。

後援会

会員インタビュー

萌木

有限会社　ヤマダ自動車

SINCE 1927 YAMADA Jidousha
目黒区中央町1-3-16
TEL　03-3715-7700
http://home.catv.ne.jp/ff/yamada-j/home/toppage

目黒通りの東急バス清水車庫向かいのカラフルな建物で、しいの実社からも、比較的近くになります。
10年前には専務としてお話を伺った 代表取締役の山田秀雄様にお話を伺いました。
昭和2年に、山田自転車店として創業したヤマダ自動車の歩みは、HONDAのカブ原動機付自転車から始まり、車社会の到来とともに事業の内容をバイクから自動車へと移されたそうです。

山田秀雄代表取締役

しいの実社でも、車に関するすべての相談をさせていただいている頼もしい存在であり、指定民間車検場として整備・塗装・販売などをしておられます。
今は、修理も、目に見える機械だけでなく、コンピューターを使って診断し、目では見えない不具合を発見するなど内容が変わってきているそうです。 ただ、夏場の整備作業の大変さは変わらず、熱中症にならないよう従業員の体調管理にも気を配られています。
もえぎの会など、福祉業界について感想を伺うと、働く職員の待遇など労働環境が整っているかどうかが気がかりであると、経営者ならではの視点でご意見をいただきました。
山田様のご趣味をお伺いすると、「あまり無いなあ」と仰りながら、東京都自動車整備振興会の事務局を務められ、お忙しくなさって時間が限られている中で、常連のお客様から囲碁に誘われ7年ほど手合わせして、習得されたとのことでした。 代表取締役の温かなお人柄が伝わってくるエピソードをお聞きすることができました。 これからも、どうぞよろしくお願いします。

クレアハーツ

港区南青山5-6-26　青山246ビル6F
サキナビューティ-ラウンジ青山
TEL　080-4131-1527
E-mail　creaheartrs@gmail.com

山本亜子さん

クレアハーツの山本亜子さんをサキナビューティーラウンジ青山にお訪ねしました。 爽やかな印象の山本さんは、美容のプロとお聞きしていましたが懐かしく親しみやすい雰囲気もお持ちでした。山本さんがマネジャーを務められるサキナは「素肌磨きを通して一人一人が素敵に輝いていただくお手伝いをする」というセルフホームエステの会社です。創業から36年、現在は全国約370か所にプログラムを体験できるラウンジがあり、多くの方々が利用されています。
「まずラウンジに来ていただき実際にこのエステマシンをお試しいただき、みな様の美容方法の中の選択肢の一つに入れていただけたら嬉しいです。一日3分のお手入れの中で、毎日を一生懸命生きてらっしゃる、心の疲れを一度リセットしていただき、明日の活力となり家庭に笑顔が増えることのお手伝いが出来たらと願っております。」と山本さん。もともとはあまり美容に特別な関心はお持ちではなかったのですが、山本さんのお母様が「サキナ」に出会われて以降の姿をご覧になっていて、ご自分もはじめられたそうです。「肌を磨くことで自分が持っている力を引き出そうとする前向きな気持ちになります。 母は80歳になりますが、今も元気に全国を飛び回っています。」 まさに理想的な未来像ですね。

取扱商品は、ホームエステ、化粧品、オーダーメイドのウィッグなど。 また男性や、100%メイドインジャパンの名前にひかれてか、海外のお客様も増えているそうです。ご興味のある方は、一度体験にお越しくださいとお誘いをいただいています。無料で3回体験できます。上記の電話またはアドレスにご連絡ください。山本さんが直接お話をしてくださいます。
もえぎの会へは利用者のご家族とのご縁で入会してくださいました。 ご実家は、今年西日本豪雨で被害を受けた呉市。今だにその爪痕は深く、元気印のお母さまはじめ、住民のみな様のストレスははかり知れないと、心を痛めていらっしゃいます。 少しでも早く今までのように変わりない日常が戻りますよう私たちも祈っております。

萌木

東和工業株式会社

―空調設備と給排水衛生設備の設計、施工、管理―

目黒区下目黒3-2-10
TEL　03-3494-8441

右：花野章彦社長

東和工業株式会社は空調設備や給排水衛生設備の設計、施工、管理で快適な住空環境を提供する会社です。 二代目の花野章彦社長と橋本伸昭トータルサービス部長にお話を伺いました。

昭和59年に「大谷商会」が設立され、翌年、目黒区に移転するとともに「東和工業株式会社」と改称されました。 平成5年に下目黒に新社屋が完成し、横浜営業所やエアコンレスキュー部の開設を経て、27年にはアークリンクも設立されました。

「水と空気でより快適な住空環境を」と掲げ、エアコンレスキュー部開設7年になります。 エアコンは今や「取り換え」るから 健康面や家計費、エコを考えるとクリーニング、メンテナンスをしてきれいな空調で長持ちさせることが主流になってきています。マンション、学校、施設など特に多くの人が集い、利用する場所ほど良好な状態を維持することを求められ、依頼も多いそうです。また、夏の長期休みには衛生関係の整備、改修が集中するとおっしゃるのは頷けます。

昨年は「しいの実社」や「沙羅の家　清水」の工事を担当していただき、猛暑の夏で、暑さが苦手な社員も多い中、お陰様で快適に仕事に取り組むことができました。 その工事がご縁でこの紙面に登場してくださることになったのですが、花野社長は「その時にいただいたクッキーやパンが美味しく、何か役に立てることはないかと考え、後援会に入会しました。」と、うれしいお話しをしてくださいました。

大鳥神社近くの本社ビル

橋本部長の「わが社の仕事は生活に関わる必要不可欠な仕事です。 目黒に移り33年、長年お世話になっているので、目黒に関する仕事には携わっていきたいと思っています」というお話は、同じ目黒の地で働く者同士、これからもよいお付き合いをさせていただけるよう、みんなで頑張っていこうと思いを新たにすることができました。 今は仕事がご趣味とおっしゃる花野社長ですが、「社員旅行は家族参加で」をモットーに毎年開催されています。ますます絆を深められた今年の記念写真の笑顔に見送られ、東和工業を後にしました。

新規後援会員をご紹介ください

年会費　1口1,000円　　個人会員　1口以上、　法人会員　10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ちいただくか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座　00130-5-667751

口座名義　もえぎの会後援会

問い合わせ先　もえぎの会後援会事務局（電話：03-5724-7153）

＊恐れ入りますが振り込み手数料はご負担願います。

グループホーム「沙羅の家 清水」 近況報告

生活支援課長　会田久美

3月に開所した沙羅の家　清水も、順調に運営されています。 順次、入居した方の生活も落ち着いてきています。 入居者により、グループホーム生活への溶け込み方は千差万別です。 スタッフも今までの経験に基づいて支援するとともに新たな取り組みをしています。

そして、初めて取り組む「短期入所」についても、利用を開始しました。もえぎの会としては、試行錯誤しながら、利用者の受け入れをしています。

さらに、障害者支援の新しい事業「地域生活支援拠点」を運営しています。 目黒区で生活する障害者を対象に、365日24時間の相談を受付け、必要に応じて地域の専門相談窓口や関係機関と連携して対応します。

張り切っているスタッフ

1. 来所及び電話による相談を受付け、状況を把握し、問題解決に向けた助言及び対応を行います。
2. 短期入所を利用した体験の機会・場を提供し、必要な支援を行います。
3. 緊急時の受入先確保を行い、必要な場合、家庭訪問、及び必要な支援等緊急対応を行います。
4. 状況により、相談支援事業所、医療機関、行政等関係機関と連携し、必要な支援につなげます。

全国で始まったばかりの事業は、障害者が地域で、安心して生活するためで、もえぎの会が目黒区から委託されて運営しています。

グループホームをエンジョイ

秋の例大祭　清水町会、目黒原町会へのご挨拶と南一丁目町会のお神輿

初参加、目黒原町会広瀬会長

9月8日大鳥神社、そして15日碑文谷八幡宮例大祭に参加し、関係する町会の神酒所を訪問しました。

15日夕方には、しいの実社のある清水町会にご挨拶に行きました。利用者は、ビールを少しいただきほんのり気持ちよくなったうえに、ごちそうをいただき、満足していました。その後、沙羅の家の利用者だけではなく、しいの実社利用者も加わり、南一町会の神輿と一緒に町内を練り歩き、お神輿を担いだり、手を叩いたりして、お祭りを楽しみました。

色々な所からお声がけをいただき、理解が進んでいると感じて、地域の方々との交流をさらに、深めたいと考えて参加しています。

参加者の増えた南一丁目町会神輿

清水町会今井会長、林副会長

威勢よく神輿担ぎ

編集後記

沙羅の家清水が開設して半年経ちました。規模の拡大とともに課題も増えましたが、取り組みも少しずつ進んでいます。今後も皆さまからのご指導を頂きながら法人として名実とも成長し、地域にも貢献できるよう努力して参ります。(岡田)

発行：社会福祉法人もえぎの会
住所：目黒区目黒本町2-7-3
（法人本部）
電話：03-5724-7153
e-mail：shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp
http://www.moeginokai.jp/